

議員提出第1号議案

大阪広域水道企業団議会会議規則一部改正の件

上記の議案を次のとおり地方自治法（昭和22年法律第67号）第112条の規定により提出する。

令和3年2月16日

大阪広域水道企業団議会議長 様

提出者 大阪広域水道企業団議会議員

伊豆丸精二  
小堀 清次  
吉川 敏文  
友永 修  
坂口 福美  
川西 二郎  
池渕佐知子  
貫野幸治郎  
前園 隆博  
西尾 博道  
坂本 尚之  
草尾 勝司  
池添 義春  
宮本 哲  
植松 栄次  
大束 真司  
神田 隆生  
山下亜緯子  
福田 英彦  
嶋野浩一朗  
中原 健氏  
古谷 公俊  
島 弘一  
井上健太郎  
永谷 幸弘  
矢野 正憲  
原 明美  
奥野 学  
西田いく子  
井上 浩一

大阪広域水道企業団議会会議規則一部改正の件

大阪広域水道企業団議会会議規則の一部を改正する規則を次のように定める。

大阪広域水道企業団議会規則第 号

大阪広域水道企業団議会会議規則の一部を改正する規則

大阪広域水道企業団議会会議規則（平成23年大阪広域水道企業団議会規則第1号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

改正後	改正前
<p>(会期中の閉会)</p> <p>第6条 会議に付された事件を<u>全て</u>議了したときは、会期中でも議会の議決で閉会することができる。</p>	<p>(会期中の閉会)</p> <p>第6条 会議に付された事件を<u>すべて</u>議了したときは、会期中でも議会の議決で閉会することができる。</p>
<p>(議場の出入口閉鎖)</p> <p>第26条 投票による選挙を行うときは、議長は、第24条の規定による宣告の後、職員をして議場の<u>出入口</u>を閉鎖させ、出席議員数を報告する。</p>	<p>(議場の出入口閉鎖)</p> <p>第26条 投票による選挙を行うときは、議長は、第24条の規定による宣告の後、職員をして議場の<u>出入り口</u>を閉鎖させ、出席議員数を報告する。</p>
<p>(開票及び投票の効力)</p> <p>第30条 (略)</p> <p>2 (略)</p> <p>3 投票の効力は、立会人の意見を<u>聴いて</u>議長が決定する。</p>	<p>(開票及び投票の効力)</p> <p>第30条 (略)</p> <p>2 (略)</p> <p>3 投票の効力は、立会人の意見を<u>聞いて</u>議長が決定する。</p>
<p>(議案等の説明、質疑及び委員会付託)</p> <p>第37条 会議に付する事件は、会議において提出者の説明を<u>聴き</u>、議員の質疑を行う。</p> <p>2～4 (略)</p>	<p>(議案等の説明、質疑及び委員会付託)</p> <p>第37条 会議に付する事件は、会議において提出者の説明を<u>聞き</u>、議員の質疑を行う。</p> <p>2～4 (略)</p>
<p>(発言の許可等)</p> <p>第50条 発言は、<u>全て</u>議長の許可を得た後、登壇してしなければならない。ただし、発言が簡単な場合その他特に議長が許可したときは、議席で発言することが</p>	<p>(発言の許可等)</p> <p>第50条 発言は、<u>すべて</u>議長の許可を得た後、登壇してしなければならない。ただし、発言が簡単な場合その他特に議長が許可したときは、議席で発言することが</p>

できる。

(発言の通告等)

第51条 会議において発言しようとする者は、あらかじめ議長に発言通告書を提出しなければならない。ただし、議事進行に関する発言、一身上の弁明その他緊急を要する場合及び発言を通告した者が全て発言を終わった場合は、この限りでない。

2～5 (略)

(発言内容の制限)

第54条 発言は、全て簡明にするものとし、議題外にわたり、又はその範囲を超えてはならない。

2・3 (略)

(一般質問)

第61条 (略)

2 質問者は、前項の規定による質問の方法として、一括質問一括答弁方式又は一問一答方式のいずれかを選択するものとする。

3 質問者は、議長の定めた期間内に、議長に質問の方法及び要旨を文書で通告しなければならない。

(準用規定)

第63条 質問については、第55条及び第59条の規定を準用する。ただし、質問の方法として一問一答方式を選択した場合には、第55条の規定は、準用しない。

(表決の順序)

第74条 (略)

2 (略)

3 修正案が全て否決されたときは、原案について表決をとる。

できる。

(発言の通告等)

第51条 会議において発言しようとする者は、あらかじめ議長に発言通告書を提出しなければならない。ただし、議事進行に関する発言、一身上の弁明その他緊急を要する場合及び発言を通告した者がすべて発言を終わった場合は、この限りでない。

2～5 (略)

(発言内容の制限)

第54条 発言は、すべて簡明にするものとし、議題外にわたり、又はその範囲を超えてはならない。

2・3 (略)

(一般質問)

第61条 (略)

2 質問者は、議長の定めた期間内に、議長にその要旨を文書で通告しなければならない。

(準用規定)

第63条 質問については、第55条及び第59条の規定を準用する。

(表決の順序)

第74条 (略)

2 (略)

3 修正案がすべて否決されたときは、原案について表決をとる。

(委員外議員の発言)

第82条 委員会は、審査又は調査中の事件について、必要があると認めるときは、委員でない議員に対し、その出席を求めて説明又は意見を聴くことができる。委員でない議員から発言の申出があったときも、また同様とする。

(委員外議員の発言)

第82条 委員会は、審査又は調査中の事件について、必要があると認めるときは、委員でない議員に対し、その出席を求めて説明又は意見を聞くことができる。委員でない議員から発言の申出があったときも、また同様とする。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。